

特許電子図書館（IPDL）の利用に関するアンケート調査の概要について

平成 27 年 5 月
独立行政法人工業所有権情報・研修館

1. はじめに

皆様にご愛顧いただきました特許電子図書館（IPDL）は、平成 27 年 3 月 20 日をもって終了しました。これまでのご利用、誠にありがとうございました。

本資料では、平成 26 年 1 月～平成 27 年 3 月の間に IPDL へお寄せいただきましたアンケート（303 件）の集計結果をご報告いたします。

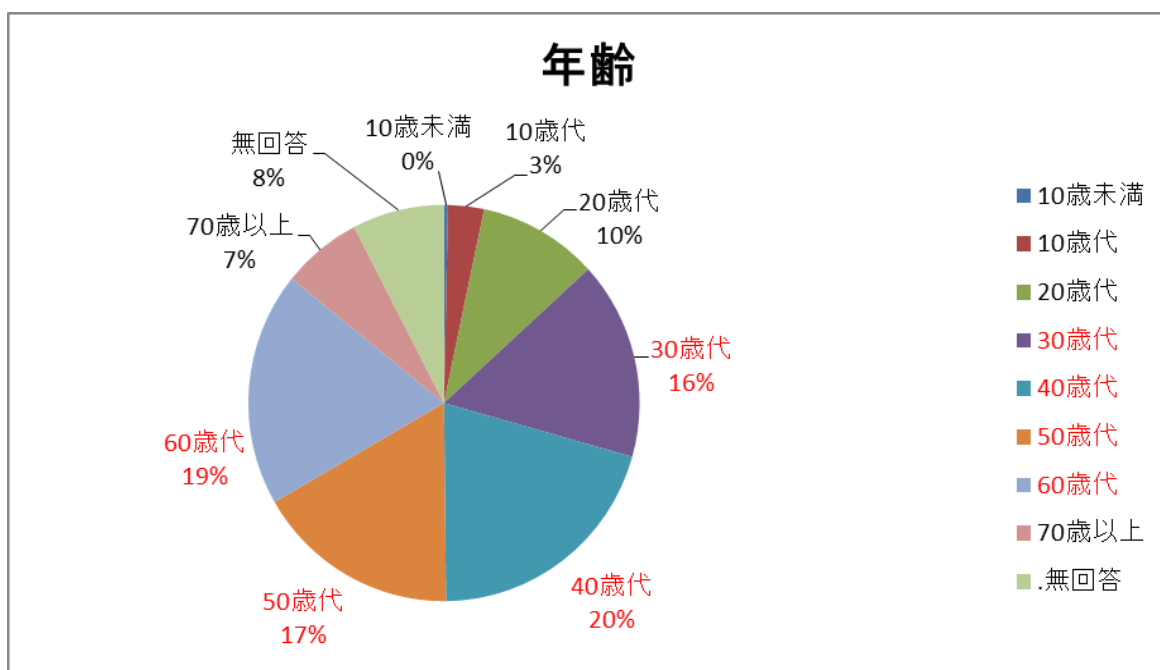
なお、平成 27 年 3 月 23 日より新たな特許情報提供サービスとして、特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）を開始しております。J-PlatPat でも、サービス向上に向けたアンケートを実施しておりますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

2. アンケート結果

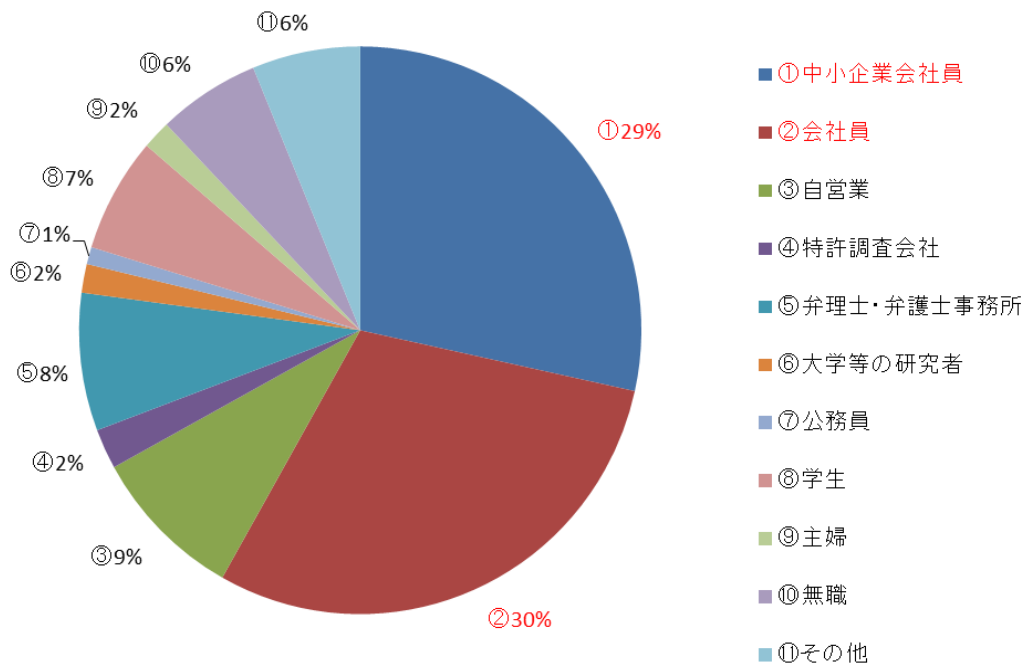
(1). 年齢及び職業

IPDL アンケート回答者を年齢別で見ると、40 代が 20%、60 代が 19%、50 代の方が 17%、30 代の方が 16%で、40 代以上が全体の半数以上を占めました。

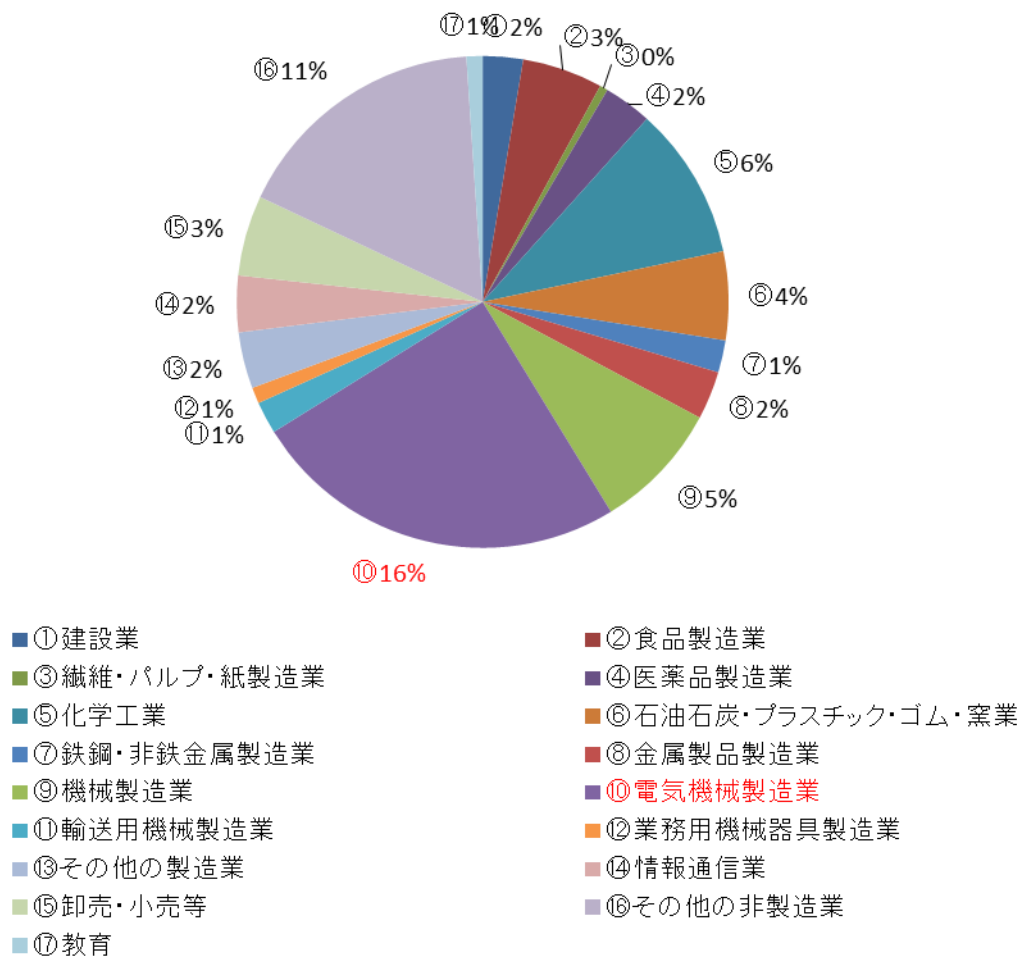
職業別では、「会社員」が 30%、「中小企業会社員」が 29%、次いで「自営業」が 9%となっております。また、業種別では「電気機械製造業」が 16%で最も多く、非製造業をあわせて 17%でした。



職業(回答数303件)

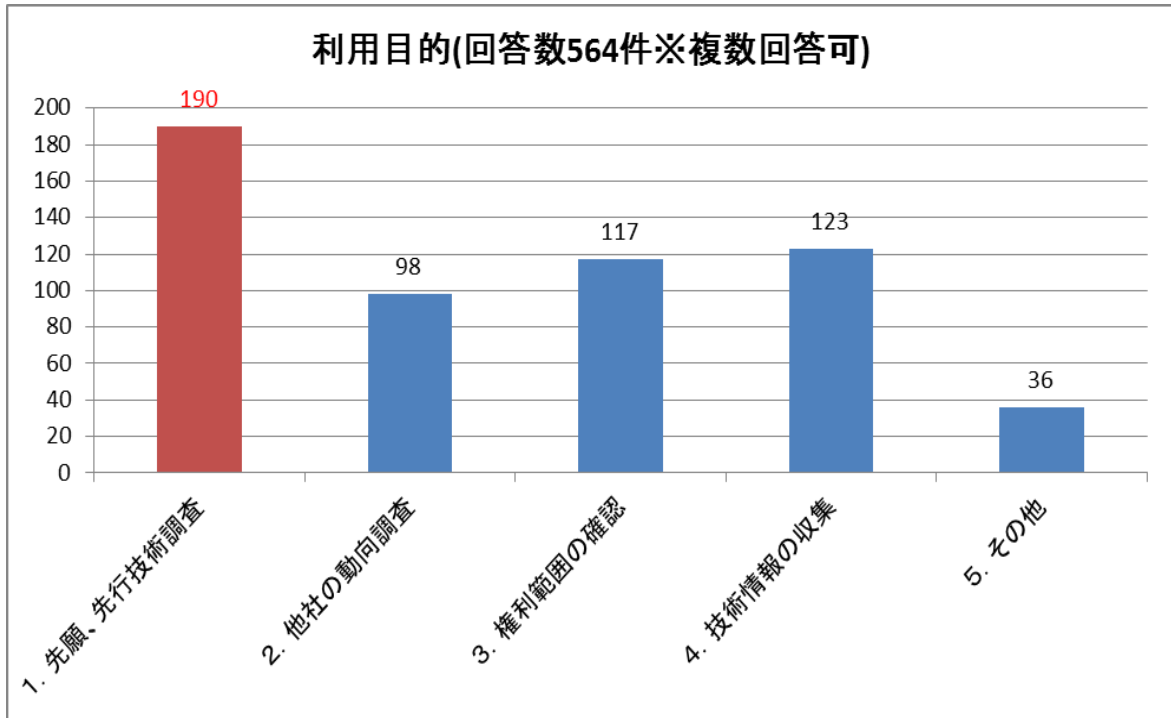


業種(除く:無回答)(回答数189件)



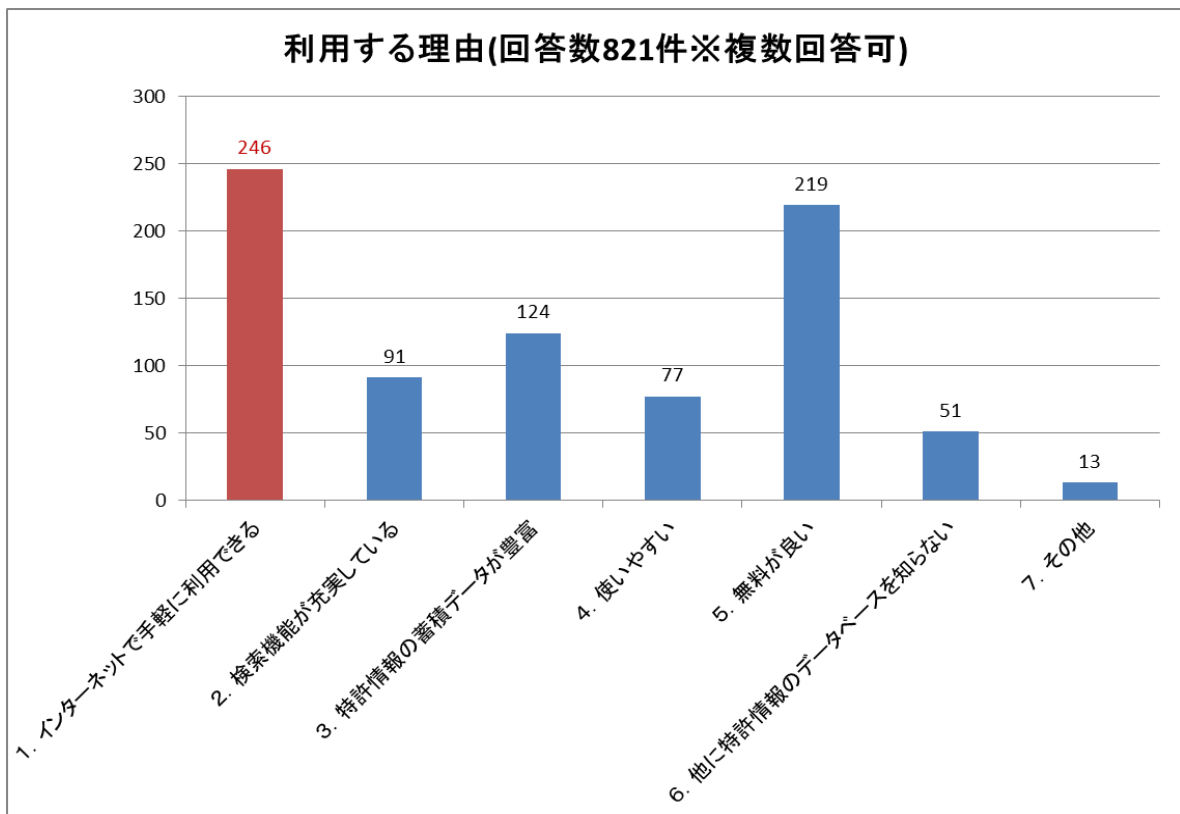
(2). 利用目的

利用目的では、「先願、先行技術調査」が190件と最も多く、続いて「技術情報の収集」123件、「権利範囲の確認」117件、「他社の動向調査」98件となっております。



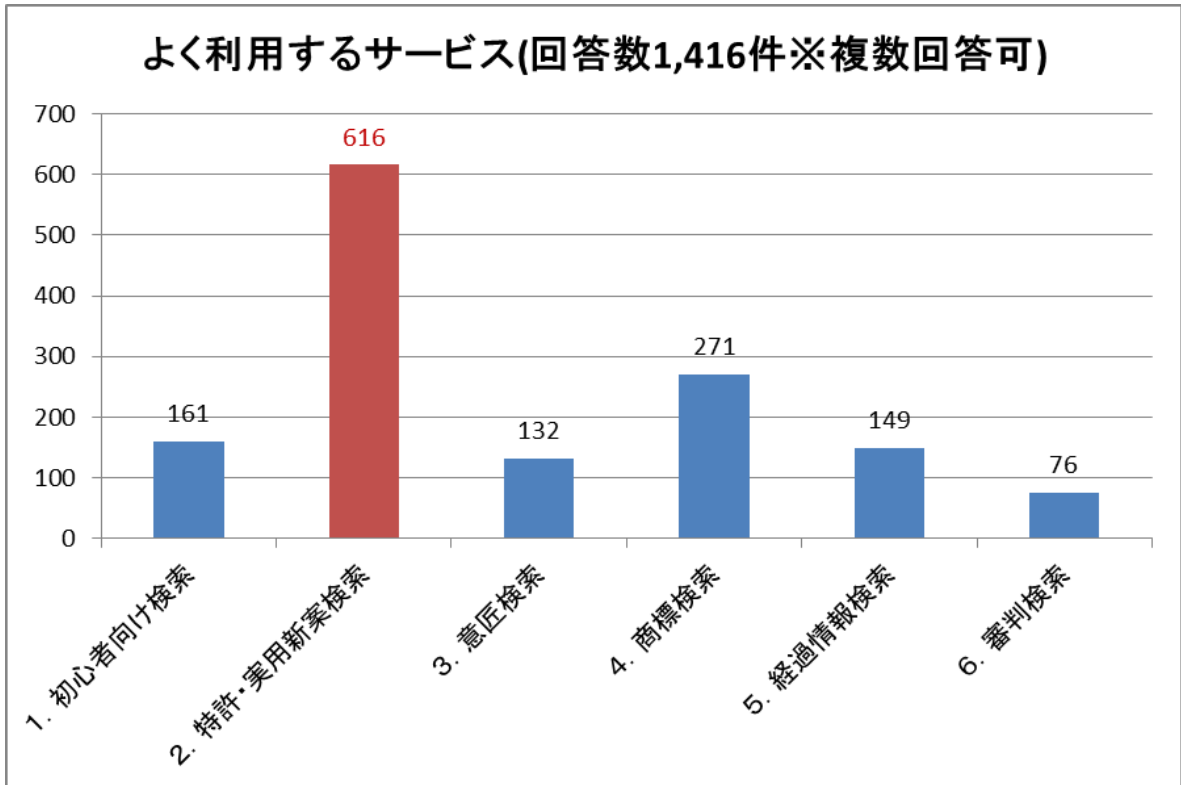
(3). IPDL を利用する理由

IPDL を利用する理由としては、昨年同様「インターネットで手軽に利用できる」が246件と一番多くの回答が寄せられております。



(4). よく利用するサービス

よく利用するサービスでは、昨年同様「特許・実用新案検索」が 616 件と最も多く、続いて、「商標」271 件、「初心者向け検索」が 161 件、「経過情報検索」が 149 件となっております。



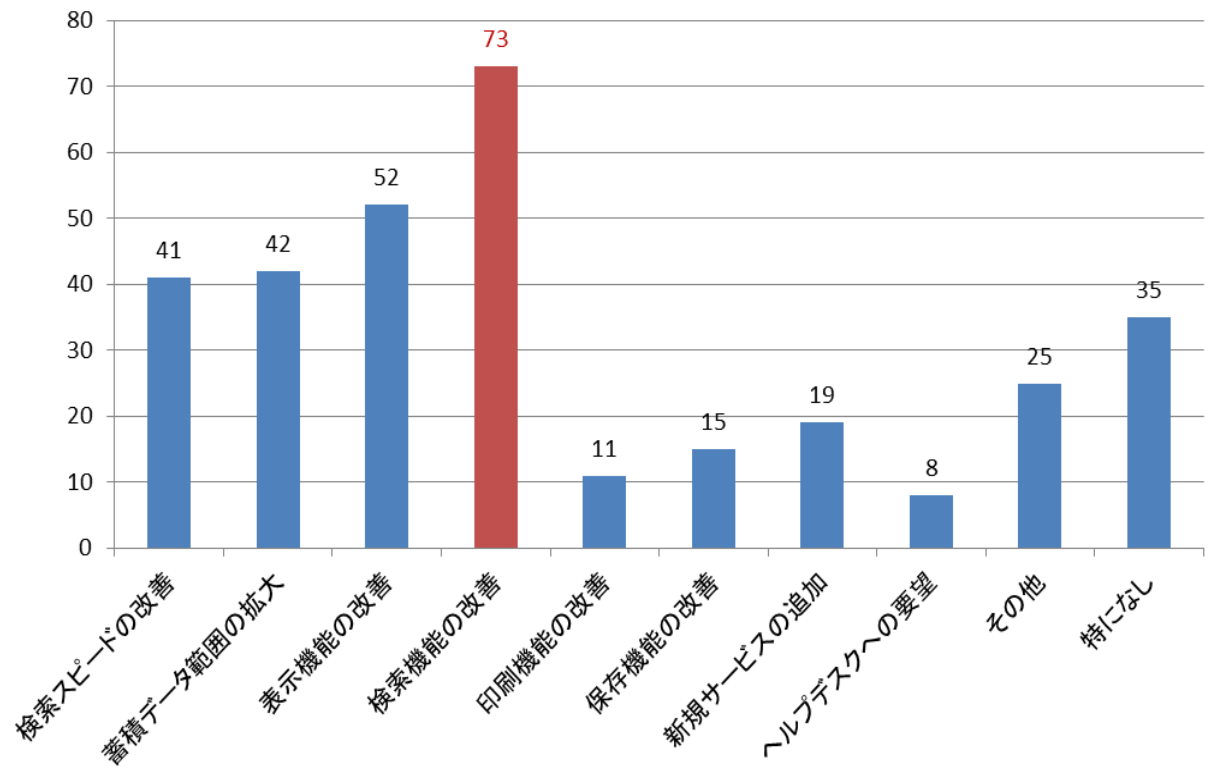
(5). 今後の改善要望

今後の改善要望については、「検索機能の改善」が 73 件と昨年に続き最も多く、続いて、「表示機能の改善」、「蓄積データ範囲の拡大」の順となっております。

(以下、要望の一部抜粋)

- ① 検索機能の改善
 - F タームとテキストの複合検索
 - 旧公報についての検索の向上 (DVD 公報発行以前のものについて)
- ② 表示機能の改善
 - 公報図面の表示の改善
 - レイアウトの変更
- ③ 蓄積データ範囲の拡大
 - 古い案件のテキストデータ
- ④ その他
 - 検索履歴の保存
 - 審査書類情報照会と番号照会の一元化

今後の改善要望(回答数321件※複数回答可)



以上